

乙第拾九号

千歳勇拂両驛間街道慶更布達ノ取上申  
當使管下札幌ノ根室ノ街道中千歳驛ノ勇拂  
驛ノ人馬直進致末候要自今千歳驛ノ苦小牧  
驛ヲ経テ勇拂驛ノ維立為致候旨別紙申第  
九号ノ通布達致候條此段上申候也

明治十年十月十日 開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

開拓傳

甲第九號

當使管下札幌ヨリ根室ヘノ街道中千歳驛ヨリ勇拂驛  
へ人馬直繼致來候處自今千歳驛ヨリ苫小牧驛ヲ經テ  
右勇拂驛へ繼立致サセ里程左ノ通ニ候條此旨布達候  
專

明治十一年十月十一日

開拓長官黑田清隆

自千歳 六里三十四町  
至苫小牧  
自苫小牧 三里  
至勇拂

乙亥八月十六日

水陸軍中尉千早山治死に、志高、  
水陸軍中尉山内信千早山治、高田、  
及一山中二名、嶋、乃、精神、得、亂、致、自  
定、程、ヲ、自、定、之、多、有、也、其、中、山、治、也

明治十一年九月十四日

陸軍中將兼南越支隊長 山内信千早

大政大臣 三條實美